

(公社) 日本地球惑星科学連合 教育検討委員会
2016 年第 1 回会合 議事録

開催日時：2016 年 5 月 22 日（日）（JpGU2016 年大会初日），19:00～20:05

場所：幕張メッセ国際会議場 103

1) 出欠，成立確認

JpGU 所属学協会 50，このうち委員を出している学協会は 45。
出席・委任状合わせて 24（出席 15，委任状 14（重複している学会あり））
過半数 23 を超えていることから，本委員会会合が成立していることを確認。

2) 前年度会合議事録確認

メール審議により異論が出ていないことを確認。

3) 報告事項

(0) 現委員の任期は 2016 年 5 月末日までであることを確認した。

(1) 各小委員会の活動報告など

・教育課程小委員会

1) 一般公開セッションの開催

JpGU2016 年大会初日（5/22）「次期学習指導要領で求められる資質・能力の達成を目指して」を地理系と合同で開催した。最大時 80 人近い聴衆が集まり，120 部用意した資料が全て捌けるなど，盛会であった。

2) 文部科学省への提言作成等

次期高等学校学習指導要領の改訂に向け，教育課程小委員会で作成し，教育検討委員会にてメール審議を行った文部科学省へ提出予定の提言 1，提言 2 に関して報告があった。理事会にて提言 1 の提出が認められ，文部科学省へ提出する日時が現在調整中との報告であった。

また，次期高等学校学習指導要領にて継続して設置される見通しの基礎科目について，昨年度の JpGU 大会で提案した A 案の内容を改善した新「地学基礎」の内容に関する提言（提言 2）の作成に向け，本日 5/22 の一般公開セッションで内容試案を提示した。中教審での審議終了前に提言を提出するべく，今後すみやかに最終案をまとめ，理事会で承認を得る手続きに入る予定である。

・大学及び大学院教育小委員会

参照基準の作成後，特に動きは無し。

・教員養成等検討小委員会

活動報告無し。

(2) JpGU 主催による教員免許状更新講習の開催に向けて

2016 年度から試行を行うことが 3 月の理事会で承認された旨の報告があった。

<JpGU が開催する意味>

地球惑星科学の複数分野の内容を一回の講習にて取り扱える。

地球惑星科学の教員が多数所属している大学では，東北大，筑波大など限られた大学でしか開催していないため，全国を対象とした知識普及活動を進めることができる。

4) 審議事項

(1) 本委員会の今後の運営方針（今回の会合での特に重要な審議事項）

現状：委員は，幹事会＋全加盟学協会から 1 名以上（加盟学協会からの委員数に依らず 1 学協会で 1 票）
課題：

- ・全加盟学協会から委員が構成されていない（委員を出せない事情がある学協会の存在）。
- ・委員数が多く、活動を行う際の小回りが効かない。

提案：委員構成は、幹事会＋委員 とする。

委員は、5つのセクションおよび投票区分の地球総合から、各2～3名にて構成。

委員長1名，副委員長1～2名，

幹事4名（各小委員会委員長）＋2～3名（教育担当理事，委員長，副委員長経験者）

委員十数人程度

任期の途中期間でも，必要に応じて委員の追加を認める。

提案に対して，質疑応答を行った。出された意見等は次の通り。

意見等：

- ・委員会として，各委員や母体の学協会の力を生かしていない（日本応用地質学会）。
- ・委員が属するセクション等が偏った場合にはどうするのか。
→ 委員数が少ないセクション等に委員の選出を依頼して対応する。
- ・委員の立場はどうなるのか？
→ JpGU 内の委員会の委員として活動して頂く。
- ・所属する学協会から推薦を受けている形も認めて貰いたい。その方が活動し易いため。
→ 所属する学協会の判断に任せる。
推薦により委員を出して下さる学協会の意見は尊重する。（推薦による委員を排除しない。）

審議の結果，提案は賛成多数で承認された。

本会合では幹事会メンバーを決定し，委員は現委員を通してメール審議にて決めることとなった。

(2) 新幹事会メンバーの決定

立候補を募ったが立候補者がいなかったため，現幹事会からの推薦案を提示し議論を行った。

推薦案（敬称略）

委員長：畠山正恒，副委員長 西 弘嗣（教育担当理事（予定））

幹事：瀧上 豊（教育担当理事（予定）），根本 泰雄（現副委員長），阿部 國廣（元委員長），

宮嶋 敏（教育課程小委員会委員長）

審議の結果，提案は賛成多数で承認された。

(3) 国際対応（AGI(American Geological Institute)とJpGUとの関係）について

AGIからの申し出に関する説明が行われた（瀧上）。

審議の結果，本委員会の下に教育国際対応小委員会を設立して対応することが賛同多数で承認された。

あわせて，委員構成の提案も行われ，以下の会員が委員となることが承認された。

（敬称略；abc順）

川村教一（秋田大学教育文化学部），熊野善介（静岡大学教育学部），

中井咲織（立命館宇治中学校・高等学校），松本 剛（琉球大学理学部）

以上